

「調べて、広めて、市民を守る。」

地域ぐるみで放火防止を！



「火事を知る！」

火災事例

CASE-1

共同住宅の玄関ホールで、ごみ箱内のごみ類が焼けました。

CASE-2

共同住宅の廊下の数か所で、窓格子にかけてあった傘などが焼けました。

CASE-3

住宅敷地内で、自転車前かごの盗難防止カバーが焼けました。

CASE-4

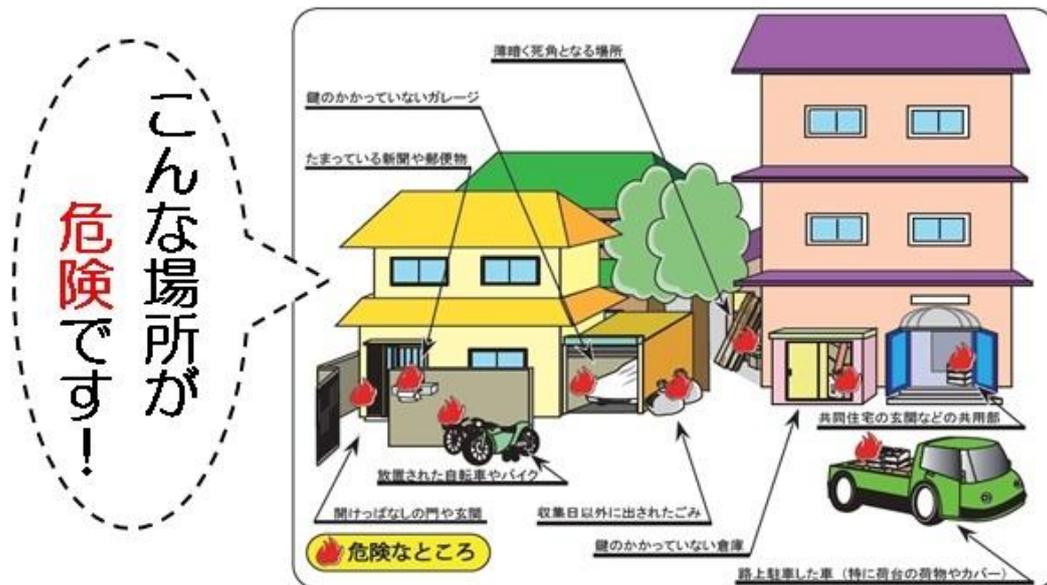
家の前の路上に置いていたごみが焼けました。

火災になるまで

放火（疑いを含む）の対象は、「火をつけやすい場所ならどこでも・・・」と、どこが狙われるかわかりません。

死角などに燃えやすいものがあれば、ライターなどを使って火をつけます。

発生する時間帯は、暗くて人通りが少なくなる夕方以降に多くなっています。



「身を守る！」



家のまわりに燃えやすい物を置かないようにしましょう！



日頃から、地域みんなで、放火されないよう心がけましょう！



大阪市消防局 予防課(調査鑑識)
<<<Survey & Investigation>>>